

抗がん剤感受性スクリーニング検査

produced by エアデックmini株式会社

抗がん剤感受性検査の検査薬剤が10剤セットになった検査です。

ある濃度に対する細胞の増殖抑制率を3段階で評価を行います。

各患者のがん細胞においてどの薬剤が効きづらいのか客観的に判断することが可能です。



検査の意義

10剤まとめて検査を行っていくことで、患者さん個々に不適合な薬剤やそれこれに見合った薬剤を見つけていくことができます。

スクリーニング検査のメリット

- 01 2剤で検査をするよりも料金がお得に検査できます。
- 02 どの薬剤で効果があるのか、定められた一般的なプロトコルに限らず網羅的に検査することが可能です。

△ 注意

高い感受性の薬剤が認められた場合は、薬の絞り込みをしていくために追加の抗がん剤感受性検査をおすすめいたします。

あくまでも参考の判定になるため、その子の状態に合わせて獣医師の判断で治療を行ってください。

抗がん剤感受性スクリーニング検査に関するお問合せはこちら

TEL 042-707-7674

Mail mini@airdec.jp

24時間OK

お問い合わせ
専用フォーム



公式HP

<http://airdec.jp>

エアデックmini



抗がん剤感受性スクリーニング(Aコース)検査結果報告書

薬剤	判定	処置濃度	抑制率(%)
ドキシソビシン (抗腫瘍性抗生物質)	○	100 nM	90
ミトキサントロン (抗腫瘍性抗生物質)	△	100 ng/ml	30
カルボプラチン (プラチナ製剤)	○	100 µg/ml	80
シスプラチン (プラチナ製剤)	×	100 µM	10
パクリタキセル (タキサン系)	○	10 µM	65
シクロホスファミド (アルキル化剤)	×	100 µM	50
メルファラン (アルキル化剤)	×	10 µM	10
ゲムシタビン (代謝性抗がん剤)	×	100 µM	5
ビノレルビン (ビンカルカロイド系)	×	1 µM	5
ビンブラスチン (ビンカルカロイド系)	△	10 nM	30

※ 各薬剤の処置濃度は弊社での感受性試験で用いている薬剤濃度を基準に決定しています。